

彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和5年4月27日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 4人出席	教育長 教育長職務代理者 本田 啓子 委員 小松 照明 委員 永濱 隆 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 前川 学 子ども未来部長 小山 圭映 教育部次長(教育総務課長) 小島 久喜 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校 ICT 推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 林 宏 博物館管理課長 野村 雅之 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	<p>1 開 会 午後1時30分</p> <p>2 議 題 内 容 別添のとおり</p> <p>議案第20号 彦根市立小・中学校ホームページ管理運用規程の改正について(学校 ICT 推進課)</p> <p>議案第21号 彦根市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について (学校支援・人権・いじめ対策課)</p> <p>議案第22号 令和5年度彦根市社会教育委員および公民館運営審議会委員の変更について (生涯学習課)</p> <p>議案第23号 彦根市地域学校協働活動推進員の委嘱に係る臨時代理の承認について (生涯学習課)</p> <p>議案第24号 令和5年度彦根市コミュニティ・スクール(学校運営協議会)推進事業にかかる 学校運営協議会設置校の委員の任命に係る臨時代理の承認について (生涯学習課)</p> <p>議案第25号 彦根市生涯学習推進本部設置規程の一部改正に係る臨時代理の承認について (生涯学習課)</p> <p>3 その他 内 容 別添のとおり</p> <p>4 閉 会 午後2時15分</p>

1 開 会

教育長職務代理者 それでは開会に先立ちましてご報告いたします。

本日、教育長から、彦根市教育委員会会議規則第4条第2項の規定に基づき、他市出張により参集できない旨の報告を受けております。

従いまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、私が教育長の職務を行います。

ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、6件です。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、1件の報告事項を説明させていただきます。その後、議案第20号から議案第25号までの審議をいただき、その後、「各所属の取組事項について」の質疑を行い、「その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育部長 それでは、私から教育長報告をさせていただきます。

前回の教育委員会会議の後の教育長業務について、報告させていただきます。

3月24日金曜日、2月市議会が閉会し、自席で視聴しました。午後に教育実践研究奨励賞授賞式を本庁で行い、賞を授与しました。

3月27日月曜日、市の人事異動内示がありました。人権教育推進委員会を人権・福祉交流会館で開催し、出席しました。

3月31日金曜日、人事異動に伴う辞令交付式を本庁で行い、辞令を交付しました。

4月2日日曜日、春季彦根市民スポーツ大会総合開会式がプロシードアリーナ彦根であり、出席しました。

4月3日月曜日、人事異動に伴う辞令交付式を本庁で行い、辞令を交付しました。

4月4日火曜日、校園長・教頭合同会議を南地区公民館で開催し、出席しました。

4月5日水曜日、年度当初のあいさつ回りに、県庁関係課と人権センターを訪問しました。

4月7日金曜日、ともづな教育相談事業スーパーバイザー委嘱式全員研修会を、中央町別館で行い、委嘱状を手交しました。

4月12日水曜日、県教育行政重点施策説明会・研修会が県庁であり、教育委員とともに出席

席しました。

4月17日月曜日、彦根市小・中学校教頭会研修会が南地区公民館であり、講話を行いました。

4月19日水曜日、彦根市学校事務推進委員会委員委嘱式を本庁で行い、委嘱状を手交しました。午後に、第1回地区公民館長会議を本庁で行い、出席しました。

4月22日土曜日、彦根市PTA連絡協議会定期総会が稲枝地区公民館であり、出席しました。

4月27日木曜日、近畿都市教育長協議会定期総会が大阪府泉佐野市であり、出席していません。

報告は以上です。

何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

2 前回会議録の承認

3 報告事項

教育長職務代理者 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和5年度児童・生徒数について」報告をお願いします。

学校教育課長から報告がありました。

小松委員 特別支援学級の生徒が514名で、小学校9名、中学校16名ということなんですけど、増加率というのはやっぱり年々ここ2、3年から見たら増加して行って、今後もやっぱり増加していくというふうに予想される場所なんですかね。今後の予測はどうですか。

学校教育課長 特別支援学級の在籍者につきましては毎年、就学相談の結果を踏まえて変わっておりますので、次年度以降の予測は、立てにくい状況でございますが、前年度の比較で申しますと、在籍率が令和4年度は小学校5.8%でした。それが、今年度令和5年度は6.1%に増加しています。中学校につきましても、令和4年度は4.3%でした。それが今年度は4.8%。トータルで考えましても、令和4年度は5.3%に対し、令和5年度は5.7%ということで、増えておりますので、今後についても、特別支援学級在籍率は増えていくと予想しています。

4 議題

議案第 20 号 彦根市立小・中学校ホームページ管理運用規程の改正について

学校 ICT 推進課長から説明がありました。

小松委員 今、個人情報条例の名前が変わったということの説明だったと思うんですけども。

これ名前が変わっただけで、やること自体が何も変わってないんですか。その作業的なこととか、管理するポイントが増えるとか減るとか、煩雑になるとか、その辺りが変わるところがあれば教えてください。

学校 ICT 推進課長 業務的に何か煩雑になるとか、事務作業の時間が増すとか、そういったことは一切ございません。これまでは国の行政機関、独立行政法人、民間事業者および地方公共団体において、異なる法律や条例が適用されておりました。本市においても条例で定めていたわけですが、この改正によって、個人情報の保護に関する規律が個人情報保護法に統一されたというだけのことです。この同一の法の下で、個人情報保護制度を運用していくこととなります。

議案第 20 号は原案のとおり承認されました。

議案第 21 号 彦根市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について

学校支援・人権・いじめ対策課長から説明がありました。

議案第 21 号は原案のとおり承認されました。

議案第 22 号 令和 5 年度彦根市社会教育委員および公民館運営審議会委員の変更について

生涯学習課主幹から説明がありました。

議案第 22 号は原案のとおり承認されました。

議案第 23 号 彦根市地域学校協働活動推進員の委嘱に係る臨時代理の承認について

生涯学習課主幹から説明がありました。

議案第 23 号は原案のとおり承認されました。

議案第 24 号 令和 5 年度彦根市コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進事業にかかる学

校運営協議会設置校の委員の任命に係る臨時代理の承認について

生涯学習課主幹から説明がありました。

永瀆委員 本筋として特に意見はないのですが、城西小学校の運営協議会の5番の方ですね、山根良太さん。佛教大学の学生という肩書きになっているのですが、これは何か特別な活動されてるとか、学生が入っている理由をちょっと教えていただけますか。

生涯学習課主幹 学生が入っているのはこの城西小学校だけです。学生が入るのも、今年度初めてです。この学生につきましては、佛教大学の学生で、地域連携を専門的に勉強している学生で、城西小学校の地域学校協働活動にも積極的に参加していた学生になります。学校のこともよくわかって、本人も勉強したいので、是非とも委員に入れたいということで、今年度入っているということです。

永瀆委員 学生でどういうことかな、どういういきさつかなと思ったのですが、そういうふうに積極的に地域活動というか、学校の勉強もされていると。こういう委員はどうしても高齢化しているとか。ただ、小学生、中学生という若い世代への活動というのは、より近い世代の人の方がわかる、気持ちとか。非常によい選択だと思いますし、他の地域もそういう積極的な若い世代の方々に参加していただければいいのかなと個人的には思っています。

小松委員 コミュニティ・スクールが今年4校追加になって、13校ということをおっしゃいましたが、確かコミュニティ・スクールは彦根市全校に広げる、今年広げるという予定だったと思うんです。今、全体で17校ですよ、彦根市の小中学校合わせて。残りのところは、なぜコミュニティ・スクールに参加されていないのか、今後の予定はどうなのか、というのをちょっと聞きたかったんです。

生涯学習課主幹 彦根市教育委員会としましては、令和6年度に全小中学校をコミュニティ・スクールにするということを目指しております。今、小学校が17校、中学校が7校で、合計24校あります。そのうち13校しか今年度当初ではコミュニティ・スクールになっていないのですけれども、未設置校につきましては、今年度、学校訪問や研修等、あるいはCSアドバイザーなどを活用して導入に向けた支援をしていって、令和6年度には全校に導入できるように、支援していきたいなというふうに考えております。

小松委員 この指定に入ってもら、運営協議会をやってもら、今の最大のネックっていうのは何なんですか。なかなかコミュニティ・スクールにすぐに入らない、全24校中13校しか入れないというのは、一番の問題は何なんですか。地域の問題なのか学校の先生の考え方の問題なのか、わかれば教えて欲しいです。

生涯学習課主幹 まだ学校運営協議会が立ち上がっていないところが、まだ準備が進んでいないというわけではなくて、現在も令和6年度に向けて準備は進めてもらっていただいています。ただ、委員の選出というのが、やはりどの学校も苦勞されているところです。多過ぎても難しいし、やっぱりこの人は入れたらいいということで、委員の選出に慎重になっておられる学校とか、あるいは中学校区でコミュニティ・スクールをそろえてやろうとか。例えば、東中学校ブロックがそうなのですが、立ち上げられないことはないのですが、やっぱりあそこだけ立ち上がると、というふうに校長先生からは意見を伺ったことがあって、中学校ブロックでこれまで同時に地域学校協働活動を推進してきたということもあるので、まだ立ち上がっていないという学校もあります。

議案第24号は原案のとおり承認されました。

議案第25号 彦根市生涯学習推進本部設置規程の一部改正に係る臨時代理の承認について

生涯学習課長から説明がありました。

議案第25号は原案のとおり承認されました。

5 各所属の取組事項について

田附委員 この4年度のアンケートについて、いつごろ結果が出るかっていうことを、教えてくださいなさいんですけども。

学校 ICT 推進課長 実施しましたアンケートについては、現在集約を行っています。先日、県教委より令和4年度の端末利活用調査等の調査結果が届きましたので、本市の状況と比較検証の上、来月の教育委員会会議の中でお伝えさせていただく予定です。また、このアンケートから様々なことが浮き彫りになってくると思われますので、そうした課題や成果を参照しながら、今年度の研修の企画であるとか、授業場面での活用促進等につなげていく予定です。

小松委員 ICTについては、ここ2年で導入して、大西課長の時に、体制ができ上がったのかなという感じはしてるんですけど。これから、それをベースに、彦根市のICTっていうのは、やっぱり充実してやっていかなあかん、そのためのアンケートでもあるのかもしれないけど、その課長自身が今思われてる、今後のICTの展開について、ちょっと思いがあれば聞かせて欲しいです。

学校 ICT 推進課長 このGIGAスクール構想の下、大きく動き出した彦根市の取り組みが早いも

ので2年が経ちました。この間、ICTの環境整備は飛躍的に進み、学習者用端末の活用や、校務支援ソフトの運用などが徐々に浸透している状況です。今後の課題は、この整備されたICT機器をより効果的に活用推進していくことだと、強く感じているところです。とりわけ、子供たちの学びの質というものの向上に向けては、今後、様々な側面から、このICTを利用する中で高めていく必要があると思いますし、もう一方で、教員のICT活用による働き方改革の実現というものも、求めていかなければいけないところであると感じています。

小松委員 課長の今の思いでやっていただいたらいいんですけども、私も2年間ちょっと見てきて感じるのは、やはり彦根市だけではなくて、それ以外の米原とか、そういう近隣の情報交換会もやってくれてました。やはり、まずは滋賀県のやっぱりトップ2、何を指標にしてトップというのはわからないけど、僕は常に草津市っていうのは意識してたんですけど、ICTについては、やっぱり草津市が一番進んでるなど。だから、そういうところをぜひ見ていただいて、日本全体を見たらかなりいろいろあると思うけども、まずは滋賀県でいいと思うんですけども、滋賀県の中で進んでるところ、それがどういうことをやってるのか、あまり内の中に籠ってなくて、やっぱり広く情報を集めていただきたいなということ。これが一つはベースとなり、大事になるのかなと。だから、いろんな人の知恵を借りるといいですかね、非常に答えのない世界で進めていかなあかん問題でありますので。彦根市はかなり今の段階では、滋賀県の中ではトップランナーに近いところを走ってるということは聞いてますので、さらに推進して行って欲しいなということをお願いしたい。

永瀆委員 就学前教育推進協議会の協議内容は、今年、今年度の事業計画ということだったんですけど、例年この協議会は年数回行われているとは思いますが、具体的にどういう内容を皆さん集まって検討しているのか。報告会なのか、何か具体的に問題点について皆さんで討議されているか等を含めて、ちょっと細かく教えていただけませんか。

幼児課長 ここ数年につきましては、主にいわゆる接続カリキュラムを中心に、幼児期、特に5歳児から小学校1年生までの子供たちに対する保育、それから教育の考え方について、この場で研究を進めています。その中でグループ学校ごとに集まっていただいて、研究を進めたり、あとは講師をお呼びして、さらに内容を深めていくような取組みをしています。その中で並行して、昨年度からかけ橋プログラムというものをいろいろと小学校区で、これは文科省の取組みではあるのですが、3ヵ年かけて進めるということ始めました。その中で今回の議題に上げていますように、これまでは5歳児から小学校1年にかけての接続という

ころを意識してやってたんですけども、接続ではなくて、やはり 5 歳児の姿を小学校の先生にも見ていただいて、反対に保育士、幼稚園の教員については、小学校 1 年の子供の姿をしっかり見ていただいてその子供を、5 歳児から 1 年生にかけて接続でなく、一つの成長過程としてどのように生徒を育てていくかというところで、就学前ではなくて、一つの就学期ととらえて、さらに研究を進めていこうというところで、名称の変更を今回させていただいた次第です。ここ数年はそういうことで、主に接続、いわゆる小学校、幼児期 5 歳児から小学校 1 年にかけての研究を進めているところです。

小松委員 博物館は、毎年年度の終わりにその時の入館者数、その数の推移をまとめて報告していただいていたと思うんですけども。対前年でどれぐらいの推移があったとか、そのまとめた結果がわかればちょっと教えていただきたいなど。ここ数年多分コロナで減ったやつが、今年は何か挽回できてるのかなという思いはあるんですけども。数値的にどこまで挽回してるのですか。それは、多分わかっていると思うので、毎年一覧表をいただいていますので、それを教えていただきたいなど。あと、特別公開の入館者数 4,883 人っていうのは多いんですかね、少ないんですかね。これの評価はどう見えていますか。

博物館管理課長 令和 4 年度の有料無料の入館者数の合計ですが、9 万 9,267 人で、前年の令和 3 年度の 6 万 2,016 人と比較しますと、3 万 7,251 人の増、60.1%の増加率となっています。また、観覧料収入はまだ確定値ではないのですが、現在把握している時点で 3,107 万 9,000 円あまりということで、前年度の 1,942 万 1,000 円と比較して、1,165 万 8,000 円の増となっていますので、令和 3 年度に比べて入館数、観覧料収入も大幅に増加したという結果になっています。特別公開については、今年度の数値は 4,883 人で、前年度の 3,045 人と比較しますと、1,838 人の増、60.4%の増加率となっており、年間の増加状況とほぼ同じと考えられます。

6 その他

各委員 なし。

教育長職務代理者 以上で本日の会議を閉会します。

5 月の会議は、5 月 25 日木曜日、午後 1 時 30 分から本庁舎 5 階 5-1、5-2 会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。